

## 音源の比較試聴(27)

### —ウィンナワルツ—

#### 1. 始めに

前報(26)に引き続き、各種音源の再生経路に関するアースアキュライザーを含む種々の対策の効果の確認のため、各種音源の比較試聴を実施します。

#### 2. 音源の比較試聴の試聴方法と音源

各種音源の再生経路に関するアースアキュライザーを含む種々の再構成はアースアキュライザーの活用(6)で述べたとおりで、さらにレコードアンチスタティックと Magic Mat II、スピーカーアキュライザーへの Crystal Ep-G、ZANDEN Model 120 の仮想アースの Crystal E から Crystal E-G への変更などの対策を追加しています。今回もそれらの対策の効果をも、音源を替えて総合的に確認していきます。

音源は、下記の音源を聴いていきます。

アナログ盤

LONDON LOOC-5428 (ポリドール)

シュトラウスコンサート ウィーンの森の物語他

ウィリー・ボスコフスキー指揮ウィーンフィル

LONDON SL 5007~8 (キングレコード)

ウィンナワルツ集 ウィーンの森の物語他

ウィリー・ボスコフスキー指揮ウィーンフィル

SONY CLASSICAL 19802875611

ウィーンフィルニューイヤーコンサート 2025 美しき碧きドナウ他

リッカルド・ムーティ指揮ウィーンフィル

SONY CLASSICAL 88985477321

ウィーンフィルニューイヤーコンサート 2018 美しき碧きドナウ他

リッカルド・ムーティ指揮ウィーンフィル

#### 3. 音源の比較試聴の試聴結果

シュトラウスコンサートの LONDON 盤は、オーディオ仲間らいただいたもので DECCA、R、第4時定数 Mid と TELDEC、R、第4時定数 Mid で聴き比べていきますが、前者は強調感があり、後者の方が弦や木管の質感がでており、特にウィーンの森の物語のチターの繊細感の表現に秀でています。

ウィンナワルツ集の LONDON 盤は、以前からあったもので、これも DECCA、R、

第4時定数 Mid と TELDEC、R、第4時定数 Mid で聴き比べていきませんが、上記と同様に、前者は強調感があり、後者の方が弦や木管の質感がでており、特にウィーンの森の物語のチターの繊細感の表現で上回っています。

ニューイヤークンサート 2025 とニューイヤークンサート 2018 の SONY CLASSICAL 盤は、ディスコグラフィー【2025No.202】で報告したとおり、RIAA、N、第4時定数 High で違和感はありません。

#### 4. まとめ

2枚の LONDON 盤は、ポリドールとキングレコードの発売であり、DECCA カーブより TELDEC カーブの方が好ましく感じられました。

2枚のニューイヤークンサート盤は、最近の収録であり、RIAA で問題なさそうです。

以上